

## 今夏の清掃工場の電力供給（送電）増量について

当組合で稼働中の19の清掃工場では、ごみ焼却発電により所内の使用電力をまかなうとともに、残った電力を電気事業者に供給（送電）しています。

この夏の電力供給力は全国的に十分ではないと予想され、東京電力管内においても節電が求められています。このため、当組合では次の4つの取組みにより電力供給の増加を図ります。

この取組みにより、電力需要ピーク時間帯（おおむね午後1～4時）には本年度の当初計画に比べて、最大で約2.3万kW（約5.9万世帯相当量※）増量させ、清掃工場全体では約8万kW（約20.6万世帯相当量※）の電力を供給します。

※ 1世帯の平均消費電力0.388kW（電気事業連合会の資料より算出）

- 1 灰溶融炉1炉稼働 期間：今年度中  
灰溶融炉を複数有する工場については1炉稼働とし、電力消費量を抑えることにより電力供給を約0.1万kW増やす取組みを実施中です。
- 2 灰溶融炉全停止 期間：7月23日（月）～8月10日（金）  
この期間においては灰溶融炉をすべて停止することで電力消費量を抑え、電力供給をさらに約0.3万kW増やします。
- 3 集中焼却 期間：7月23日（月）～8月10日（金）  
点検のための停止時期を一部変更するなどして、この期間に稼働する焼却炉の数を増やすことにより、電力供給を約1.2万kW増やします。
- 4 焼却調整 期間：7月30日（月）～8月3日（金）（おおむね午後1～4時）  
1日のうちで焼却量を調整するなどにより、電力需要ピーク時間帯に合わせて、電力供給を約0.7万kW増やします。

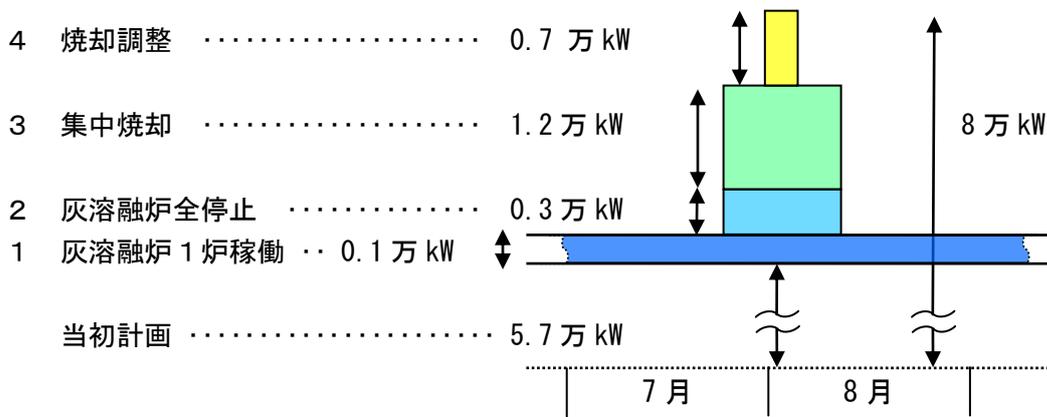


図 今夏の電力供給見込み